

[マンスリーレポート開始のご挨拶]

みんなのオービックシーガルズ アメリカンフットボールプロチーム@千葉の創設に向けて

皆様、改めてご挨拶させていただきます。

アメリカンフットボールクラブチーム“オービックシーガルズ”監督兼株式会社 OFC 代表取締役の並河研と申します。

今後ともなにとぞよろしくお願いいたします。

私たちオービックシーガルズは、1983年に企業内の同好の志が集まって創部し、今年で25周年を迎えます。その間に同好会から企業スポーツチーム、そしてクラブチームへと運営形態が変遷して参りました。

3度目の日本選手権を制した2005年度には、今までチームの背骨となり支えてきたものは何か、つまり、自分たちのチームらしさ、DNAを発見し、言葉としてまとめるというプロジェクトを行いました。そこで残った言葉は“本気”の2文字でした。

少し紹介いたしますと…

ひとりひとりの“本気”でシーガルズを創り、シーガルズの“本気”がみんなを変える。

このようなフレーズで始まるチームDNAを制定したわけですが、ボールを運び、敵をタックルした一人ひとりの選手だけではなく、選手以上の想いでチームを支えたスタッフ、はがゆい思いをしながらも支え続けてくださったファンの皆様、スポンサーの皆様、まさしく全員の“本気”が、25年間のオービックシーガルズを創ってきました。

特にXリーグが創設されてからの戦績は、12回のシーズンで11回の決勝トーナメントへの出場、4回のXリーグチャンピオン、3回の日本チャンピオンと花開くことができました。一方で、早くから若年層向けのフットボール教室や、キッズを対象としたフラッグフットボールの普及にもチームとして力を注いで参りました。

激しく熱く戦い、執拗に勝利、頂点を追及するのも、子ども達とともに楯円のフットボールを追い

続けるのも、私たちが、何よりもアメリカンフットボールを好きだからです。

そして私たちは、25年という節目を迎えて、“本気”DNAを持ったオービックシーガルズのミッションは、日本のアメリカンフットボール全体の“本気化”にイノベーター（革新者）として取り組むことであると、改めて認識しています。

その大きなマイルストーンとして、“アメリカンフットボールのプロチームを創設すること”を掲げることとしました。

1チームだけプロになるということも変な話なので、その前提には、日本のアメフトのトップリーグ化、そしてプロリーグ化が大前提となります。

無謀に聞こえるかも知れませんが、少なくとも見積もって10年単位のプロジェクトであることも承知しておりますが、強い思いを持って、現在活動の拠点とさせていただいている千葉をフランチャイズとした、「強く、愛される、そして開かれたプロアメリカンフットボールチーム」誕生に向けて、歩みを進めてまいりたいと思います。

ケネディ大統領の有名な演説の中の“ We choose to go to the moon (私たちは月に行くことを選択する)”一節ではありませんが、25歳になった私たちは、アメリカンフットボール本気化計画を打ち出し、プロリーグ、プロチーム創設に向けた大きな旅を始めます。

皆様には、是非私たちの旅に参加していただけますことを切に願っております。

このレポートは、そのような皆様に対して、日々の活動を月ごとにまとめて発信していきたいと考え、開始させていただくこととしました。大きなことも小さなことの積み重ねであります。旅を始めた私達にアドバイスやご指導をいただければ幸いです。

末筆ながら、皆様の益々のご健勝ご発展をお祈りいたします。



並河 研

オービックシーガルズ監督

1961年生まれ、奈良県出身。アメフト人生は筑波大学からで、今年で29年。現役時代は、オフライン⇒ディフェンスライン。オービックシーガルズでは、1993年から監督だったり監督でなかったり。昨年、準決勝で敗れて悔しくてしょうがなく、今年から監督に復帰。趣味は特にありませんが、再来年のフルマラソン出場を目指して走り始めました。

ひとりひとりの“本気”
でシーガルズを創り、
シーガルズの“本気”
がみんなを変える。

チームの顔はこの5人

2月9日(土) オービック習志野グラウンドにて、オービックシーガルズ 2008 シーズンが始動しました。
今年のキャプテンは昨年に引き続き #2 古庄直樹、バイスカプテンは #57 小林桂一、#56 木村裕二、
#36 白木周作、#8 渡辺雄一です。



#2 古庄直樹



#57 小林桂一



#56 木村裕二



#36 白木周作



#8 渡辺雄一

4選手が海外挑戦

今春、オービックシーガルズから4選手が「海外挑戦」しています。

IPDプログラムでNFLに挑戦するのは #85 萩山竜馬と三宅剛司(新人、アサヒ飲料から移籍)。#13 里見恒平と #31 中西類は、AF2に参戦中です。



#85 萩山竜馬



三宅剛司



#13 里見恒平



#31 中西 類

2008シーズン始動!

チームスローガン決定

古庄主将と大橋ヘッドコーチから、2008 シーズンのチームスローガンが発表されました。2008 シーズンのスローガンは「SPIRIT」。心、精神という意味です。それぞれのアルファベットは以下のような言葉を意味しています。

Soul : 魂

Professional : プロ意識

Intensity : 激

Rumble : 闘争

Independence : 自立

Team : 集団

闘志をもって自分自身を鍛える

闘志のこもったプレー・行動の積み重ねでチームを創る

闘志をもった集団となってフットボール界を変える



Soul/Professional/Intensity/Rumble/Independence/Team

IPD (International Player Development)

NFL が、長期的に日本人初の NFL 選手を誕生させるために、2004 年からスタートさせた複合的プログラム。IPD 対象の選手たちは、2月から4月にかけて3次にわたるヨーロッパでのキャンプを経て、約45名に絞り込まれ『チーム IPD』を結成。『チーム IPD』はその後5月と6月に1試合ずつ本場米国の大学レベルのチームと計2試合を行い、その試合での活躍やキャンプを通じての総合的な評価などを基に、最終的に8名の選手が『インターナショナル・プラクティス・スクワッド (外国人練習生: IPS)』として選抜される。IPS 選手は、7月末のトレーニングキャンプから1シーズンにわたって NFL チームに帯同することができ、翌年の FA 選手契約に向け、最大のアピールの場を手にする。

2008 年、IPD 対象選手には約60名が選ばれ、日本からは8選手がプログラムに参加している。

アリーナフットボールリーグ

アリーナフットボール (Arena Football) は、アメリカンフットボールをホッケーリンクなどの室内で行えるようにルールを変更したもので、アメリカではプロリーグであるアリーナフットボールリーグ (AFL) が 1987 年から始まった。AF2 はその2部リーグ。



トライアウト 2008

3月16日(日)には、新人選手のトライアウトが行われました。

天気は晴れ、気温は 19℃と最高のコンディションの中、オフェンス 12 人、ディフェンス 10 人の計 22 人が入団に向けてアピールを繰り返しました。

合格者は春シーズンの練習や試合を通じて、既存の選手とともに 70 名の ROSTER (ロスター) 登録を目指します。

メインスポンサー

システムインテグレータの **オービック**

オフィシャルスポンサー



OBC BUSINESS CONSULTANTS CO.LTD.

Ds Daiichi Seihan

★ CONVERSE

オービックシーガルズマンスリーレポート 5月号

発行人/並河 研

編集/渡部 滋之

制作・デザイン/高木 慶太

文・写真/藤田 義生

発行/㈱ OFC

〒104-0061 東京都中央区銀座 1-19-16 銀座昭和ビル 3F

Tel.03-3567-1313

Fax.03-3567-1312

http://www.seagulls.jp